長野市民病院
Nagano Municipal Hospital

あした元気になあれ

長野市民病院広報誌
第36号
平成21年９月15日

長野市民病院の理念

1．命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2．医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3．個人の人権と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4．地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります

地域がん診療連携拠点病院　病院機能評価認定病院　臨床研修病院

当院外科 濱田医師 「小布施見にマラソン」にて人命救助！

写真提供：週刊長野　8月11日取材対応

7月19日㈰に開催された「小布施見にマラソン」で、一般ランナーとして病院内の仲間と参加した当院の濱田浄司外科医師が、救急隊と連携して心室細動で倒れた60代の男性ランナーの命を救いました。

スタートしてから1㎞付近のコース脇で人が倒れ、既にランナーとして参加していた救急救命士が心肺蘇生を行なっているのに遭遇し、ランナーとして競技を続行するか一瞬迷いましたが、現場に医師がいた方が良いと判断し、レースを中止したそうです。AEDによる除細動や心臓マッサージなどの適切な処置が行なわれていることを間近で確認しながら、救急車が到着次第、医療器具や薬剤の準備を行いましたが、薬剤投与が出来る人がいなかったので、救急車に同乗し入院先の長野市民病院へ向かいました。倒れた男性はAEDにて1度心拍が戻りましたが、再び心室細動となり、救急車内で2回目の除細動を行いました。除細動は成功しましたが、血圧が戻らず、医師の指示がないと使えない昇圧薬を投与したことで、間もなく脈が戻りました。

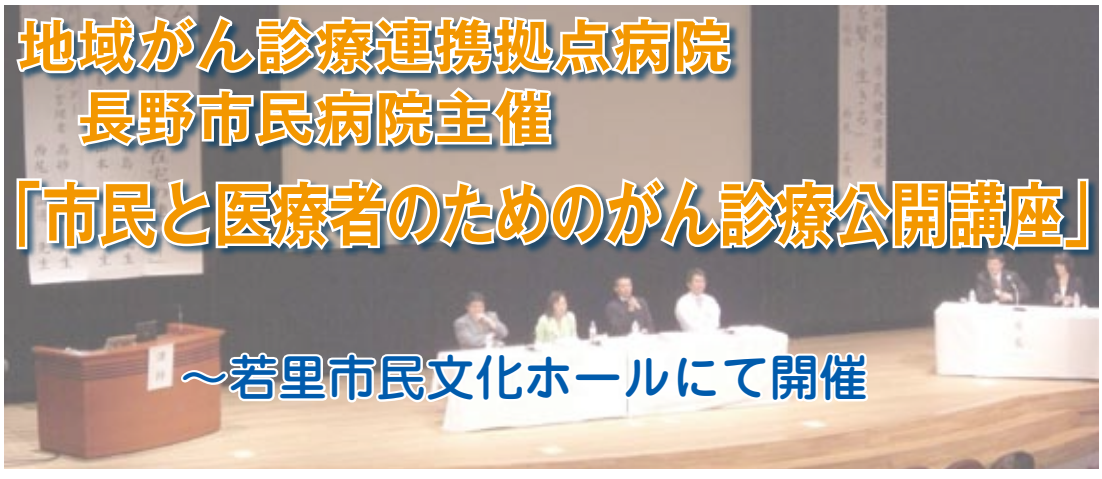
入院して治療や検査を受けていた男性は5日後、後遺症もなく元気に退院しました。

当院の職員によるこうした「人命救助」という社会貢献は、昨年9月、黒部ダムでAEDを用いて人命救助を行った当院

の勝山さおり看護師に続く2例目となります。敬意を表し、病院長からの表彰を行いました。

濱田先生は、「今回当事者でなく、1歩引いた立場だったので心の余裕があり、周囲を良く見ながら的確な判断が出来ました。救急隊の出来る処置がもう少し増えればよいと思います。市民の方も心肺蘇生の講習に積極的に参加されたり、どこにAEDがあるか知っておいて下さい。」と話しておりました。

地域がん診療連携拠点病院
長野市民病院主催
「市民と医療者のためのがん診療公開講座」



～若里市民文化ホールにて開催

去る9月12日㈯、若里市民文化ホールにて、地域がん診療連携拠点病院の活動の一環として、長野市民病院主催の「市民と医療者のためのがん診療公開講座」を開催いたしました。

今回は、市民健康講座とシンポジウムによる2部構成となりました。当日は、当会場隣のビッグハットにて催し物があったり、小雨によるあいにくの天気でしたが、約200名もの来場がありました。

第1部では、第8回長野市民病院市民健康講座「がんの時代を賢く生きる」と題して、北海道がんセンター院長西尾正道先生の講演がありました。

医療も機器も高度化が進み〝早期発見・早期治療〟が出来るようになったので、がんの治療成績も向上してきたが、今後はさらに進んだ〝適時発見・適時治療〟の時代になっていくのではないかとのことです。

今後のがん治療は、数多くの情報を集めて整理・活用して、自分なりの判断を持ち、医師と折り合いをつけ、がん治療の選択肢の中に、放射線治療もあるということを頭に入れて欲しいとのことです。しかしながら、地域間格差も目立ち、どこに住んでいても全ての放射線治療を受けられるわけではなく、得意・不得意はあるが、県単位・地域単位で、役割分担をもちながら、地域がん診療連携拠点病院と連携して乗り切って欲しいとのことです。

講師　北海道がんセンター院長
西尾　正道先生

また、医療では正しい選択が良い結果になるとは限らず、医療の限界を知った上で、各々の生き方を決めていって欲しいとおっしゃっていました。

第2部では、シンポジウム「がん医療に望むもの ―病院と在宅の連携―」と題してシンポジウムを行い、長野県衛生部長桑島昭文先生、県厚生連佐久総合病院総合診療科責任医長山本亮先生、横浜・南区メディカルセンター訪問看護ステーション管理者高砂裕子先生、北海道がんセンター院長西尾正道先生の4人による取り組みを発表されました。

当日会場でご協力いただきましたアンケートでは、次回の講演内容について多数のご要望をいただきました。今後もこうした公開講座を継続し、地域の皆さまへ保健医療に関する情報提供を行うとともに、地域がん診療連携拠点病院としての責務を果たしてまいります。

＜第2部＞シンポジウム～

故 長田敦夫名誉院長は
平成21年6月18日
「瑞宝小綬章　正六位」
を授与されました。

新型インフルエンザの知識

呼吸器内科医長　山﨑誓一

今年5月に米国からの帰国者に国内初の新型インフルエンザを確認して以来、水際対策もむなしく、8月中旬には国内感染者数はすでに11万人と推定され、各地で集団感染、学級閉鎖が相次ぐ事態に至っています。

今回の新型インフルエンザウイルスはA型で、毎年冬になると流行するソ連型と同じ亜型A（H1N1）ですが、遺伝子的にはブタの間で流行していたウイルスに近いものです。今までヒトの間では流行したことのないウイルスであり、新型インフルエンザと認定されました。かつてないウイルスに対して私たちには免疫がありませんので、感染すると重症化したり世界的流行（パンデミック）となる恐れがあるのです。

幸いにも、今回の新型インフルエンザは現在のところ弱毒性で、抗ウイルス薬も発症48時間以内なら効果があります。但し、糖尿病、慢性心疾患、慢性呼吸器疾患、妊婦、透析患者、小児など基礎疾患を有する方は重症化のリスクがありますので注意が必要です。

近日中にもワクチンの入手が一部可能となる見通しですが、過信は禁物です。一般的にインフルエンザワクチンの予防効果は良い年でも成人で約7割、高齢者や小児ではそれ以下とされています。また新型インフルエンザワクチンが出回る秋以降には、遺伝子変異が生じて病原性の高まった新しいウイルスによる第2波が流行している可能性があり、それらに対してはワクチンの効果はさらに低下するものと予想されます。

現時点では私たちひとりひとりが冷静かつ適切に対応することが大切です。うがい手洗いを心掛けるとともに、咳により周囲1m以上ウイルスが飛び散る（飛沫感染）ことを認識し、自分がかからない、人にうつさないように心掛けてください。はからずもインフルエンザ様の症状が出たら、待合室での二次感染防止のため、まずはかかりつけ医や発熱相談センターに電話でお問い合わせください。

みなさまの声

市民病院では、開院以来、外来・入院の患者さま、お見舞い等の皆さまから様々なご意見ご要望をいただいております。

毎月、貴重なご意見を集約して職員に回覧。できるところから改善、検討を加えております。最近お寄せいただいたものの中から選んで紹介します。今後とも叱咤激励をお願いいたします。

入院中大変お世話になりました。快適な入院環境で驚きました。トイレットペーパーが薄いのと紙巻カバーがきついせいもあって、引っ張り出す際にちぎれてしまい、高齢者の方には大変だと思いました。

（入院患者　男性）

◆回答　ご意見ありがとうございます。ご指摘のトイレットペーパーですが、昨年、石油が値上がりをした際に、安価で紙詰まりがしない物を検討した経緯で使用しております。今回頂いた貴重なご意見を含め、再度検討してまいります。

予約の電話をした際、感じが悪かったです。電話が完全につながる前に「長野市民病院です」と言い始めます。それも早口で何を言っているのかわからないのです。最初はどこも応対が非常によいのですが、この対応にはがっかりしました。聞き取れるようゆっくりと対応して欲しいと思います。

（外来患者　女性）

◆回答　予約電話には、スムーズで気持ちのよい対応を日頃から指導しておりますが、行き届かず大変申し訳ございませんでした。電話対応は、相手の方の姿が見えないため、ゆっくりと丁寧な言葉遣い、正しい姿勢での対応を行うよう再徹底いたします。

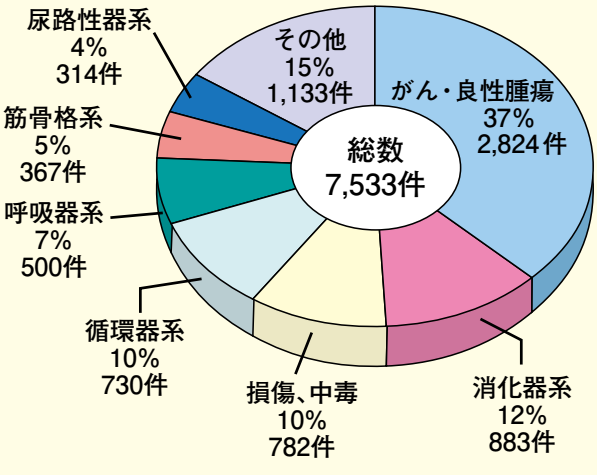
胃の手術をしたのですが、食事を下げるのが早いような気がします。栄養士さんからは「ゆっくり噛んで食べて下さい」と言われています。その辺を考えてゆっくり食事をさせてもらいたいです。

（入院患者　男性）

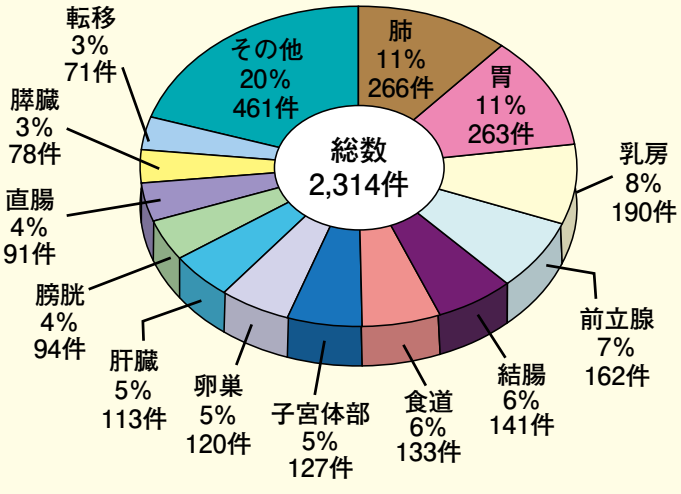
◆回答　配慮が足りず申し訳ありませんでした。関係部署に伝え、今後徹底するようにいたします。胃の手術をした方は、特に食事の摂取方法に注意をしていただくことが必要です。もし看護師が下膳にお伺いしても、まだ食べていることを伝えていただいて構いません。よろしくお願いいたします。

＊＊＊ 長野市民病院 ＊＊＊
がんに関する年間診療実績(平成20年度)

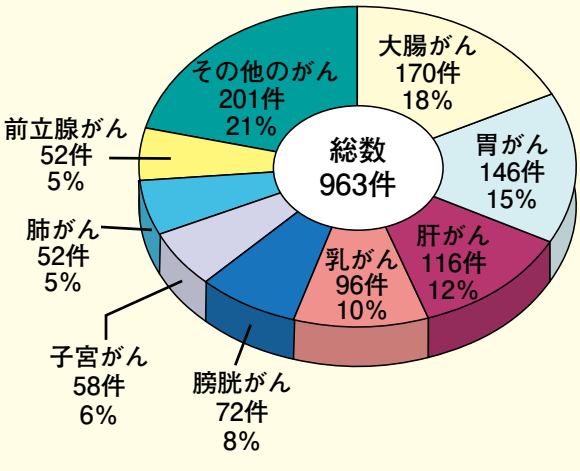
疾病別患者数(入院)



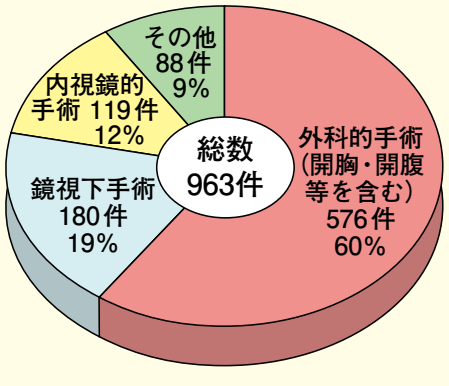
がん(悪性腫瘍)の部位別割合(入院)



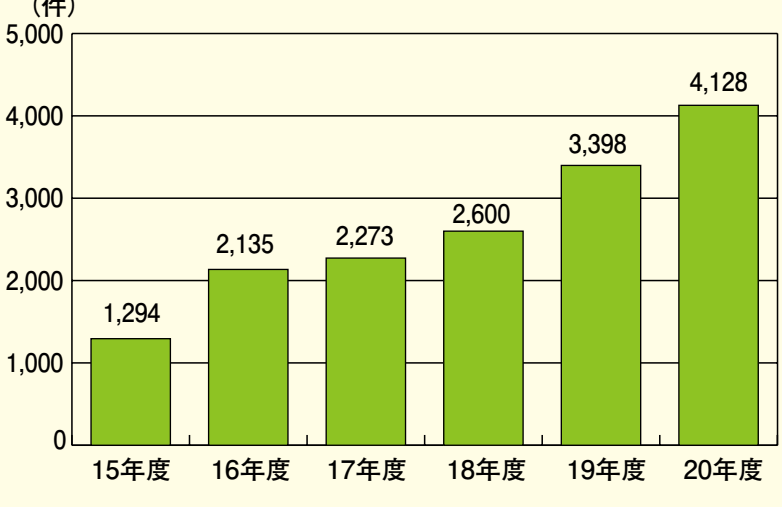
がんの疾病別手術件数



がんの手術内訳



外来化学療法センター利用件数(平成15~20年度)



地域がん診療連携拠点病院の役割

1 診療体制

① 日本に多い５大がんの治療
② セカンドオピニオン機能
③ 緩和ケアの提供
④ 診療支援や他の医療機関との連携

2 研修体制

① 地域のかかりつけ医などを対象に早期診断
② 緩和ケアなどに関する研修会の実施

3 情報提供体制

① 相談支援機能
② がん登録

採用情報

§募集案内§

長野市民病院では、現在、下記の職員募集を実施しております。
まずはお気軽にお問い合わせください（℡0120-511-990）。

職　種	応　募　条　件　な　ど
医　師	常勤医・後期研修医
看　護　師	正規職員：有資格者。または資格取得見込み者。交替制勤務が可能な方。
	非正規職員：有資格者。交替制勤務は難しいが①8：30～17：15の時間帯での勤務が可能な方。②19：00～23：00③14:45～23:30（休憩45分）④17:00～23:30（休憩30分）②～④はいずれも急病センター勤務。週2～3回でも可。以上、ご相談ください。
臨床検査技師	①正規職員：有資格者、または資格取得見込者。平成22年春新卒者歓迎。②非正規職員：平日の8：00～12：00勤務。生理検査経験者、腹部エコーの経験者歓迎。
理学療法士・作業療法士	非正規職員：有資格者。
言語聴覚士	正規職員：有資格者、または資格取得見込者。
臨床工学技士	非正規職員：有資格者。平日勤務及び祝日の交替勤務が可能な方。人工透析の経験者歓迎。

※詳細はホームページをご覧ください。

「再就職支援セミナー」開催のお知らせ!!

◎対象者◎看護師資格をお持ちで再就職をお考えの方
◎講　義◎4日間
○開催日○（10・12・2月の各月第1火曜から第4火曜の4回連続）
詳しい日程はホームページをご覧ください。
○時　間○13：00～16：00

お問い合わせ、お申し込みは長野市民病院看護部
（℡：026-295-1199㈹内線3204）まで

講習内容

1回目	開会 最近の医療・看護の動向 再就業者の話 看護技術（採血・静脈注射・輸液ポンプ）
2回目	医療安全 排泄・皮膚ケア 看護技術（吸引・酸素療法）
3回目	感染対策 看護技術（フィジカルアセスメント）
4回目	看護記録について 看護技術（急変時の対応・AED操作） 閉会　　修了証書授与

再就職をお考えの看護師さんに、最新の知識と技術を学んでいただき、安心して復帰いただくことをねらいとしています。受講料は無料です。
まずはお気軽にお問い合わせください。

長野市民病院　検索
http://www.hospital.nagano.nagano.jp/

歯科・小児歯科 わだ歯科医院

院長 和田 道明 医師
(長野市吉田2-26-28)

登録医紹介 No.22

当院歯科・歯科口腔外科におきましては、主として口腔外科的疾患に対して治療を行っています。
一般歯科診療は、全身麻酔を要する重度心身障害者および有病者である重度心身障害者等に対して治療を行っています。
これらの患者さまをご紹介していただいております登録医の中から、今回はわだ歯科医院をご紹介いたします。

院長の和田先生は長野市吉田のご出身で、神奈川歯科大学をご卒業後、研鑽をつまれ、平成2年10月12日に同地で開業されました。患者さまのレントゲン写真や口腔内写真をテレビモニターに大きくうつしながら、現状の問題点について詳しくお伝えし、患者さまの希望も充分にお聞きして、最善の治療方針を立ててから治療にはいられるそうです。できるだけ歯を抜かずに歯を残したいという思いから、8倍の拡大鏡を使用し歯を削る量を極力少なくしたり、歯周治療にも力を入れておられます。また、長いお付き合いのなかで、新たな問題点を早期に診て改善し、良い状態を長くたもっていこうとする考えです。また、小児歯科は抑えつけながら治療をすることはせず、今日は診察室に入れた、今日は治療台に乗れた、というように段階を踏み、治療が出来るように接しているそうです。歯科医師になって良かったことは、治療した患者さまが、美味しく食べられるようになった、痛みがなくなったと喜んで帰る姿を見たときとのことです。最近、患者さまからその喜びと感謝を込めた、このような短歌をいただいたそうです。

“新しき入歯入りたる日に届く赤子赤飯しかと噛みしむ”

市民病院は、紹介予約制になったので患者さまの待ち時間の負担が減り、また、紹介状の返書が詳細で安心して任せられるとおっしゃってくださいました。

医院内は待合室と診察室の扉をなくして診察室への抵抗感を緩和するとともに、診察室はパーテーションで区切られており、プライバシーも保たれています。患者さまが定期的に押し花の作品や、手作りの壁掛け、待合室の本を持ってきて下さったりするなど、患者さまが親しみやすく、愛されている医院という感じを受けました。

スタッフがゆとりを持って患者さまと接し、喜んで、笑顔で帰ってもらえるような治療を、今後も心掛けていきたいと意欲的に語っておられました。

「家庭介護教室について」

地域医療連携室看護師長 森田 和子

長野市民病院は急性期病院として、急性期の治療を提供し、治療が終了しましたら地域で継続して療養していただくご理解を求め医療を提供しています。平均在院日数が12～13日と短く、そのため在宅療養の準備期間も短いのが現状です。短い期間での介護指導は、指導させてもらう側にとっても、指導を受ける側にとっても十分とは言い難く不安なまま退院を迎えています。また実際に介護をしてみて新たに生じる疑問や問題点があるのに、退院してしまうと相談や指導が途絶えてしまっていました。そこで、介護についてのコツや耳寄りな情報を提供し、相談を受ける場所として、家庭介護教室を開催することになりました。5月から月一度の頻度で始まった教室は、毎回3～4名の方が参加しています。参加された方達は、介護への思いを他の人に話す又は聞くことで、前向きな気持ちになり、コツを知ることで、今後の介護にちょっぴり自信をもって帰られているようです。

2南病棟・野外庭園における二胡&ピアノ演奏会

去る8月27日㈭2南病棟・野外庭園において、二胡奏者の田村望圓さんと当院3西病棟高橋看護師によるピアノのコラボ演奏会が行われました。

今回開催することになった経緯は、当院がんすまいるサロンで田村さんのお父さんより、癒しの場を提供出来ればという想いから、息子さんが二胡、入院中にお父さんの看護を担当した当院高橋看護師がピアノが演奏出来るという縁から、コラボ演奏をしましょうという事で、トントン拍子で話が決まったそうです。

曲目は川の流れのように、青春時代、風林火山のテーマ、篤姫のテーマ等、計8曲にわたり演奏されました。

二胡は人の声に近く、癒しの音色を奏でて弾く方の人柄がそのまま音に出るといわれますが、集まった聴衆の患者さまも各々が奏でる音色に、うっとりと耳を傾けておられました。

長野びんずるに121名が参加

8月の暑い夏が訪れた今年も、恒例の市民祭「長野びんずる」が8月1日㈯に開催されました。

長野びんずるも数えて39回目を迎え、当院からは竹前病院長、宗像上席副院長、幹部職員、新人看護師、研修医等を含めて121名が参加。市内のホテルで十分気合いを入れた出陣式を行い、例年踊っている中央通り一帯から長野駅前大通りのスタートとなり、参加者全員盛り上がりました。

連長の西井副医局長、副連長の下條事務部長、日野谷看護部長を先頭にびんずる囃子にあわせて踊りました。踊り開始前に降っていた雨もやみ、参加者全員がお祭ムードで最高の踊りができました。数時間余りの踊りはあっという間に過ぎ充実した時間を過ごせました。

高校生1日看護体験「看護の関心を深めて」

7月31日㈮、高校生1日看護体験のイベントを開催しました。夏休み早々、27名の学生さんが初めて着る白衣に少々緊張した表情で、キャンドルサービス・病院見学・病棟実習を行いました。

病棟実習では、一生懸命な表情で洗髪や足浴を行い、患者さまとコミュニケーションを取っていました。イベント前の会議では、高校生の求めている事や、どうすれば楽しく興味を持って参加してくれるか等、思案し準備していました。

しかし、最後のアンケートで「ケアーを行い、やりがいを感じた」「感謝され嬉しくなった、心が温かくなった」「しっかり勉強して立派な看護師になりたい」と回答されていました。この体験は看護への関心を深めてもらう良いきっかけになったのではないか、と感じました。

帰り際に「絶対俺、看護師になってここに来ます。宜しく」と言って帰った君。一緒に働ける日を待っています、頑張ってね！

手術センター看護主任　大塚 亮子

長野市民病院外来診療担当日一覧

＊整形外科金曜日の初診は、紹介と救急のみとなります。

記号の説明　○：初診担当　◎：完全予約制　☆：午後のみ　◆：紹介のみ　▲：紹介、救急のみ

診療科	月	火	水	木	金	専　門（常勤医）	
内科 （呼吸器内科） （消化器内科） （循環器内科） （腎臓内科） （内分泌・代謝内科）	○原　悦雄 ○吉池　文明 平井　一也 越知　泰英 立岩　伸之 南澤／☆多田井 ○西井　裕	須澤　兼一 吉池　文明 ○山﨑　誓一 小松　通治 ○丸山　隆久 ○彦坂　吉興 掛川　哲司	山﨑　誓一 西井　裕 平井　一也 ○越知　泰英 丸山　隆久 ○笠井　俊夫 ○長谷部　修	○多田井／☆稲田 吉池　文明 山﨑　誓一 ○立岩　伸之 春日　広一 ○町田香津子 ○掛川　哲司	彦坂／☆西井 ○南澤　綾子 ○平井　一也 原　悦雄 ○須澤　兼一 笠井　俊夫 長谷部　修	平井一也（呼吸器） 吉池文明（呼吸器） 山﨑誓一（呼吸器） 長谷部修（消化器・内視鏡） 原　悦雄（消化器・内視鏡） 越知泰英（消化器・内視鏡） 立岩伸之（消化器・内視鏡） 須澤兼一（消化器・内視鏡） 彦坂吉興（消化器） 多田井敏治（消化器） 丸山隆久（循環器） 笠井俊夫（循環器） 南澤綾子（循環器） 掛川哲司（腎臓） 西井　裕（糖尿病・内分泌代謝疾患）	
小児科	浅岡　麻里 野田　慶太	池野　一秀 浅岡　麻里	野田　慶太 青沼架佐賜	池野　一秀 野田　慶太	浅岡　麻里 青沼架佐賜	青沼架佐賜（発達・神経・循環器・心身症） 池野一秀（免疫・アレルギー） 野田慶太（小児科一般・循環器） 浅岡麻里（小児科一般）	
外科 （消化器外科）	○成本　壮一 ○高田　学 沖田　浩一	村中　太 ○関　仁誌 ○林　賢	○田上　創一 宗像　康博 ○沖田　浩一	○村中　太 ◆宗像　康博 林　賢	○濱田　浄司 関　仁誌 田上　創一	宗像康博（消化器・胃・大腸） 林　賢（消化器・肝臓・胆道・膵臓） 関　仁誌（消化器・肝臓・胆道・膵臓） 高田　学（消化器） 沖田浩一（消化器） 成本壮一（外科） 田上創一（外科） 村中　太（外科） 濱田浄司（外科）	
整形外科	松田　智 南澤　育雄 ○山田　誠司 ○藤澤多佳子 ○中村　功	○松永　大吾 野村　博紀 － ▲松田　智 ▲南澤　育雄	○松永　大吾 中村　功 ○山田　誠司 ○南澤　育雄 －	☆中村　功 ○野村　博紀 － ○藤澤多佳子 ○松田　智	－ 山田　誠司 ○松永　大吾 ▲中村　功 －	松田　智（上肢・末梢神経） 南澤育雄（骨折・リウマチ性疾患・股膝関節） 中村　功（脊椎） 山田誠司（関節疾患） 松永大吾（整形外科）	
形成外科	○滝　建志 永井　史緒	滝　建志 ○永井　史緒	○滝　建志 永井　史緒	滝　建志 ○永井　史緒	○滝　建志 永井　史緒	滝　建志（形成外科） 永井史緒（形成外科）	
脳神経外科 （脳血管内治療科）	○大屋　房一 草野　義和	○草野　義和 宮岡　嘉就	○大屋　房一 竹前　紀樹	○草野　義和 大屋　房一	○竹前／脳外科医師 （交替制につき、担当日についてはお問い合せ下さい。）	竹前紀樹（脳腫瘍・脳血管障害・頭痛・三叉神経痛） 大屋房一（脳血管障害・脳血管内手術・脳腫瘍） 草野義和（脳腫瘍・脳血管障害・脳血管内手術） 宮岡嘉就（脳神経外科・頭部外傷）	
皮膚科	齋木　實	齋木　實	齋木　實	齋木　實	齋木　實	齋木　實（皮膚科）	
泌尿器科	岡根谷利一 山岸　貴裕 藤﨑　章子	山岸　貴裕 中藤　亮 －	岡根谷利一 飯島　和芳 藤﨑　章子	山岸　貴裕 中藤　亮 ◆岡根谷利一	飯島　和芳 中藤　亮 －	岡根谷利一（悪性腫瘍・腹腔鏡手術） 飯島和芳（神経因性膀胱・悪性腫瘍） 山岸貴裕（泌尿器科一般） 中藤　亮（前立腺肥大・尿路結石） 藤崎章子（前立腺肥大・尿路結石）	
眼科	風間　淳 －	風間　淳 千葉　玲奈	風間　淳 黒川　徹	風間　淳 －	風間　淳 －	風間　淳（眼科）	
耳鼻いんこう科	野村　康	野村　康	休診	野村　康	野村　康	野村　康（耳鼻いんこう科）	
放射線科	メタストロン外来	橋田　巖	休診	橋田　巖	橋田　巖	今井　迅（画像診断・ＩＶＲ） 高橋正明（画像診断・ＩＶＲ） 橋田　巖（放射線治療）	
歯科・歯科口腔外科	○戸木田怜子 田村　稔	○田村　稔 戸木田怜子	○戸木田怜子 田村　稔	○成川純之助	○田村　稔 戸木田怜子	田村　稔（口腔腫瘍） 戸木田怜子（口腔外科）	
神経内科	○町田香津子	山本　寛二	町田香津子	○山本　寛二	山本　寛二	山本寛二（神経内科） 町田香津子（神経内科）	第2外来
呼吸器外科 （乳腺外科）	○信大医師（交替制） 有村　隆明	○山田　響子 西村　秀紀	○西村　秀紀 山田　響子	○有村　隆明 西村　秀紀	○有村／山田 （交替制）	西村秀紀（呼吸器・乳腺・甲状腺） 有村隆明（呼吸器・乳腺） 山田響子（呼吸器・乳腺）	第2外来
婦人科	○西澤千津恵 ○村中　愛	○村中　愛 －	○森　篤 西澤千津恵	○森　篤 西澤千津恵	森　篤 ○西澤千津恵	森　篤（悪性腫瘍） 西澤千津恵（不妊症）	第2外来
緩和ケア内科	－ ◎高橋　陽	◎大道　雅英 －	休診	◎大道　雅英 －	－ ◎高橋　陽	大道雅英（緩和ケア） 高橋　陽（腫瘍精神科）	第2外来
膠原病外来	休診	休診	池田 三知代	休診	休診		第2外来
救急科	坂口　治	坂口　治	林　賢	坂口　治	坂口　治	坂口　治（救急科）	長野市民病院救急センター

外来診療担当表は、9月15日現在で作成されております。担当医師が変更となっている場合もございますので、お問合せください。

お近くの開業医による〝かかりつけ医〟を持ちましょう。市民病院へ初診で来院される場合、紹介状と事前予約があると待ち時間短縮につながります。

医師人事異動

＊新任　7月1日付

戸木田　怜子（歯科口腔外科歯科医師）

＊退職　6月30日付

岡本　正則（整形外科医師）

小沢　正敬（救急科医師）

河野　いずみ（臨床研修医）

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551　長野市富竹1333-1
TEL 026-295-1199　FAX 026-295-1148
長野市民病院・医師会 急病センター
TEL 026-295-1291
ホームページ http://www.hospital.nagano.nagano.jp/

財団法人　長野市保健医療公社
長野市民病院

■発行人：竹前紀樹（たけまえとしき）
■編　集：長野市民病院
広報誌編集委員会